

令和4年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		1-	11
事業名	消防施設経費	会計	款	項	目
		一般	9	1	3
政策	8 安全と安心を守るために	課名	総務課		
施策	8-1 消防・防災対策の充実	係名	防災対策室		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	消防力を強化し、住民の生命、財産を火災から保護する。
事業内容	消防力を強化し、住民の生命、財産を火災から保護する。 町内全域に70基の防災行政無線子局、防災ラジオ（有償配付）を配備し、住民に災害への注意を呼びかけている。 約900基の消火栓ボックスを町内全域に設置し、消火栓の維持管理を町上下水道課へ委託、消火栓ボックスについては、自治会・自治会自主防災組織による点検を実施している。また、平成21年度からは取り替え作業についても自治会へ移管し、自治会・行政の協働による消防力の強化を進めている。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）	
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
			令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B				32,467	329,395		25,636		
財源内訳	直接事業費A			29,353	326,419		22,660		
	うち一般財源			3,533	12,019		16,760		
人件費（千円）B				3,114	2,976		2,976		
内訳	一般職員（人・千円）			0.45	2970	0.44	2,904	0.44	2,904
	臨時職員（人・千円）			0.08	144	0.04	72	0.04	72

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充（事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R4年度の改善計画	消火栓ボックス及びホース交換及び維持管理 個別受信機〔防災ラジオ〕の終期計画	③取組の課題	必要最小限にするため、各自治会及び消防署との協議 防災ラジオ配信終了に伴い、東員町行政情報等メールの登録PR 非常用発電設備更新工事において、本庁舎を完全稼働できる状態にするか
②R4年度に実施した取り組み	ホース格納箱は自治会長と協議した結果、R5で笹尾城山地区は撤去、在来地区は各自治会と協議し、必要最小限でR5に設置撤去 防災ラジオは、R5で配信終了 保健福祉センター・西庁舎非常用発電設備更新	④今後の改善計画	R5アナログ基地局撤去 R9防災行政無線子局バッテリー交換 R6非常用発電設備更新工事 R6在来地区ホース格納箱の設置撤去